

授業科目(ナンバリング)	中国語会話 (CA208)			担当教員	※石 一含		
展開方法	演習	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
中国語は中国だけでなく、シンガポールやマレーシアなどの国々でも幅広く使用されており、さらに近年中国のめざましい経済発展のため、アジアの世界だと言われている 21 世紀の現在、世界中に中国語の学習者が多くいる。中国語学習は大きな世界へ繋がるツールを手に入れることだと言えよう。本授業は「聞く・話す」に重点を置きながら、中国語の運用能力とコミュニケーション能力の向上を目指し、さらに基礎となる語彙・文法知識の学びにより、中国語の語学力を固めることも目標とする。							①②③ ⑥⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な中国語会話を聞き取ることができる。 ・自分の考えを簡単な中国語で伝えることができる。 ・新しい単語、文法を身につけることができる。 				・小テスト	15%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> ・中国(語)に関連する情報の収集に積極的に取り組むことができる。 ・様々な情報収集ツール(辞書、ネット等)を活用することができる。 ・多角度から情報を理解、分析、解釈することができる。 				・課題レポート	10%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に中国語でコミュニケーションに取り組むことができる。 ・中国語の言語能力などを駆使して、相手の意図を正しく理解し、自説をうまく展開することができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・課題レポート 	20% 10%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様々な活動に積極的に参加することができる。 ・中国(語)への理解を深めるために、他人(教師や学生同士など)と積極的に交流することができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度・授業への参加度 ・発表 	15% 5%	
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> ・言語：日中両言語の異同を少しでも理解することができる。 ・非言語：漢語圏の社会、文化に関心を持ち、多様性に対する理解を深めることができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート ・発表 	10% 15%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・発表の成績を 40%とし、発表の内容と討論への参加度合で評価する。(4 回:第 8、15、22、30 回目) ・課題レポートの成績を 30%とし、情報収集分析力と言語運用能力を鍛えるために設置し、宿題として出す。(2 回) ・小テストの成績を 15%とし、毎回の授業で前回の内容を習得したかを確認する。(第 1 回目の授業を除く) ・授業態度及び授業への参加度の成績を 15%とし、遅刻欠席回数や授業への参加度合などを基準に評価する。 							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・資料：教科書を基本資料とし、パワーポイント(プリントの時もある)を補助資料として授業を行う。 ・進め方：「復習>新出単語・本文>文法解説>ワードバンク>ドリル>答疑」の流れに従う。(変わる時もある) ・目標：日常の学生生活で応用できる中国語を使い、「しゃべる」楽しさを多く体験することができる。 ・この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。 							
教科書・参考書							
教科書：陳淑梅・劉光赤(2013).『しゃべっていいとも中国語 2・ステップアップ編』朝日出版社。 参考書：池田磨左文・于耀明・傍島史奈・山本透江(2013).『みんなの中国語 [会話編]』白帝社。 指定図書：陳淑梅・劉光赤(2013).『しゃべっていいとも中国語 2・ステップアップ編』朝日出版社。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・予習と復習をすること(毎回授業後の復習をしっかりすれば、言語学習は楽になる)。 ・毎回の授業、必ず教科書と好奇心を持って積極的ご参加ください。 ・教科書以外の資料も活用すること(例:教科書の CD、参考書、辞書、歌、NHK テレビ・ラジオ番組 など)。 ・毎日 10 分間でも中国語を大きい声で読んでください。(教科書の会話例を暗記するのは望ましい) 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス(前期)	①基本的な発音の復習 ②シラバス(前期)の説明	予習：シラバスの確認; 復習：ピンイン、声調
2	第1課「你也是留学生吗？」(1)	①副詞「也」と「都」 ②二重目的語をとる動詞	予習：教科書 pp. 2～4; 復習：ピンイン、声調
3	第1課「你也是留学生吗？」(2)	ワードバンク・ドリル	復習：pp. 2～4, CD2～4
4	第2課「打工」(1)	①前置詞「在」 ②動詞「喜歡」	予習：教科書 pp. 8～10; 復習：pp. 5～7, CD5～6
5	第2課「打工」(2)	ワードバンク・ドリル	復習：pp. 8～10, CD7～9
6	第3課「在飯店」(1)	①経験を表す「過」 ②選択疑問文	予習：教科書 pp. 14～16; 復習：pp. 11～13, CD10～11
7	第3課「在飯店」(2)	ワードバンク・ドリル	復習：pp. 14～16, CD12～14
8	発表	会話(グループ)	予習：発表の準備 ☆課題レポート
9	第4課「去唱卡拉 OK」	①助動詞「得」 ②構文「一～就～」	予習：教科書 pp. 20～25; 復習：pp. 17～19, CD15～16
10	第5課「你唱得真好」(1)	①結果補語 ②様態補語	予習：教科書 pp. 26～28; 復習：pp. 20～25, CD17～21
11	第5課「你唱得真好」(2)	ワードバンク・ドリル	復習：pp. 26～28, CD22～24
12	第6課「全家照」(1)	①構文「是～的」 ②比較表現 前置詞「比」	予習：教科書 pp. 32～34; 復習：pp. 29～31, CD25～26
13	第6課「全家照」(2)	ワードバンク・ドリル	復習：pp. 32～34, CD27～29
14	第7課「买衬衫」	①方向補語(単純方向補語) ②「有点儿」と「一点儿」	予習：教科書 pp. 38～43; 復習：pp. 35～37, CD30～31
15	前期発表会	①前期のまとめ ②プレゼンテーション(グループ)	予習：発表の準備; 復習：pp. 38～43, CD32～36
16	ガイダンス(後期)	①前期内容の復習 ②シラバス(後期)の説明	予習：シラバスの確認; 復習：前期の内容
17	第8課「生日晚会」(1)	①構文「把」 ②方向補語(複合方向補語)	予習：教科書 pp. 44～46; 復習：前期の内容
18	第8課「生日晚会」(2)	ワードバンク・ドリル	復習：pp. 44～46, CD37～39
19	第9課「看 DVD」(1)	①程度補語 ②可能補語	予習：教科書 pp. 50～52; 復習：pp. 47～49, CD40～41
20	第9課「看 DVD」(2)	ワードバンク・ドリル	復習：pp. 50～52, CD42～44
21	第10課「放暑假」	①「多」+形容詞 ②不定疑問文	予習：教科書 pp. 56～61; 復習：pp. 53～55, CD45～46
22	発表	会話(グループ)	予習：発表の準備 ☆課題レポート
23	第11課「学園节」	①前置詞「离」 ②動詞+「着」	予習：教科書 pp. 62～67; 復習：pp. 56～61, CD47～51
24	第12課「滑雪」	①存現文 ②禁止を表す「不要」・「別」	予習：教科書 pp. 68～73; 復習：pp. 62～67, CD52～56
25	第13課「看病」(1)	①主述述語文 ②受け身表現	予習：教科書 pp. 74～76; 復習：pp. 68～73, CD57～61
26	第13課「看病」(2)	ワードバンク・ドリル	復習：pp. 74～76, CD62～64
27	第14課「回国之前」(1)	①「就要～了」 ②使役表現	予習：教科書 pp. 80～82; 復習：pp. 77～79, CD65～66
28	第14課「回国之前」(2)	ワードバンク・ドリル	復習：pp. 80～82, CD67～69
29	まとめ	前期・後期の文法ポイント	復習：pp. 83～85, CD70～71
30	後期発表会	プレゼンテーション(グループ)	予習：発表の準備; 復習：後期の内容